

# まちの話題

## ISA City Topics



### 悪天候にもかかわらず 大盛況 !!



11月10・11日、時折小雨が降る中「伊佐ふるさと祭り」が開催されました。

今回は、サッカーのクラブチーム「ヴォルカ鹿児島」の選手たちによるグッズ販売や、薩摩剣士隼人ショーも開催され、会場を盛り上げてくれました。また、同会場ではS-1グランプリ第7弾も実施され、他市町のグルメとともに伊佐の手羽キングも販売されました。来年2月には鹿児島市で本大会が開催され、鹿児島 No.1 が決定します。ぜひ会場に行き、応援してください。

### 芸術・芸能の祭典 「伊佐市文化祭」

11月3・4日、伊佐市文化会館と菱刈環境改善センター・菱刈農業者トレーニングセンターにおいて、第4回伊佐市文化祭が行われ、市民の皆さんの日頃の文化・芸術活動の成果が発表されました。両会場で、およそ70団体（750人）が参加し、詩吟、三味線、日本舞踊、バレエなどのステージ部門や華道、絵画、押し花などの作品展示部門があり、多彩なプログラムで来場者を魅了しました。



### 美しい自然をいつまでも



10月22日、富士建設株式会社が十曾池公園にあるわんぱく広場の下流にうなぎを約300匹放流しました。岩場が多くうなぎにとっては最適の環境のようです。

これからもこの環境を存続できるように環境保全に努め、豊かな自然を大切にしましょう。

### 宝くじ助成金で整備



市では、各小学校区に「校区コミュニティ協議会」を設置し、市民活動の中心として活動していただいています。

今回は、さらなる活動充実を図るために、各校区に野外テントを整備しました。校区で行われる行事などでご活用ください。

### 今年もおいしい新米できました

10月20・21日、市内5つの農産物直売所で「新米祭り」が行われました。直売所ごとに、おにぎりや豚汁、釜の炊きたてご飯としし汁など趣向を凝らし「伊佐米」をPRしました。



先着順で振る舞われた伊佐の新米も午前中で終了するところが多く、「5か所制覇できなかった」と悔しがると市外の人がいるほど大盛況でした。

また、「伊佐を味わえる」今後のイベントとして、伊佐農林高校地域応援団企画による「伊佐「農」祭り」が、12月22・23日の両日（10時～15時）、鹿児島市ドルフィンポートにおいて開催されます。伊佐米をはじめ、農産物や加工品など伊佐産品を販売しますので、ご家族、お友達お誘い合わせのうえ、ぜひお出かけください。

次の皆さんが優秀な成績を取られ、表彰されました。おめでとうございます。

#### 第12回全国障害者スポーツ大会

- ソフトボール投げ 金メダル
- ジャベリックスロー 金メダル



濱口良子さん（白木・45歳）

#### 第34回県支部対抗軟式野球大会優勝



大口消防署チーム

## 友棟と愛棟「友愛トイレ」完成



平成 18 年災害で被害を受けた曾木校区において、地域住民の避難所として役割を担った場所の一つに、曾木小学校があります。避難所生活で必要不可欠なトイレが、高齢者や障がいのある人にとって使いづらく、校庭近くになかったことなどから、避難所としての機能向上を図るため、屋外トイレを造りました。これは、機能性を追求しただけでなく、昔の民家を思わせるあたたかい木目壁の二棟づくりで、同校の伝統である「友愛」の精神が感じられる誰にでも優しい多目的トイレです。利用される際は、壁に飾られた 1 年生の絵にも注目です。

## 五輪レスリング応援のお礼



ロンドン五輪女子レスリングで 3 大会連続金メダルを獲得した吉田沙保里選手から、五輪応援のお礼として、記念のサイン入り大皿などが牛尾小学校児童に贈られました。同校は、8 年前のアテネ五輪の頃から色紙やビデオレターで交流しており、オリンピックには毎回、全校児童で寄せ書きした日の丸を贈り、激励してきました。児童が「私たちの宝物」と呼ぶ記念の大皿は、今回で 3 つとなり、勇気と感動をくれた吉田選手をはじめとする日本選手をこれからも応援したいと笑顔を見せました。

## ようこそ伊佐市へ



10 月 30 日から 11 月 1 日にかけて、広島市立戸坂中学校の生徒が修学旅行で伊佐市を訪れました。戸坂中学校は全校生徒が 750 人もいる大きな学校で、今回は 2 年 1 組の生徒 36 人がそれぞれ 3～4 人のグループに分かれ、受け入れ家庭に 2 泊 3 日で宿泊し、さまざまな体験をしました。菱川市山の有留さん宅に宿泊した生徒たちは、カマを手に昔ながらの稲刈り体験をしていました。生徒たちは慣れない手つきで稲を刈り、見たこともない機械で脱穀をするなど、初めての体験を楽しんでいました。

## 第 24 回住生活月間 功労者住宅局長賞



少子高齢社会で人口・世帯数が減少する中、住宅も「量」の確保より「質」の向上を図ることへと転換しています。豊かな住生活を実現するため、平成元年に定められた毎年 10 月の「住生活月間」における住宅局長表彰において橋口徳二さん（西方・59 歳）が受賞されました。良質な木造住宅の建築による伝統構法の継承・普及ならびに大工職人をめざす若者の育成に尽力されたことが評価されました。おめでとうございます。

## 伊佐市PRレディー・ボーイ



10月31日、PRレディー・ボーイの委嘱式がありました。任期は平成24年11月1日から1年間です。

(写真左から)

福元真伊花さん(鹿児島信用金庫)

曾我大輝さん(畜産業)

田口直樹さん(大口酒造)

宮脇小夏さん(JA北さつま)

井上美沙さん(伊佐市役所)

「市のPR活動、笑顔で頑張ります！」

## ボランティア活動



10月19日、始良伊佐電気工事業協同組合の10電気工事業者(伊佐電友会)と九州電力株式会社霧島営業所により毎年実施される「高齢者住宅電気配線無料診断」が、今年は、平出水・山野地区(一部)で行われました。点検してもらった人は「漏電が心配だったがこれで安心して生活できる」と喜んでいました。

悪質な訪問販売等の被害も多いため、電気工事に関することはお近くの電気工事業者へご相談ください。

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町の佐藤仁町長が10月24日、市役所を訪問され「皆さんの優しい心遣いで、町民はなんとか前に向かおうという気持ちになれた。心から感謝したい」とお礼の言葉を述べられました。

震災後、市は、市民から寄せられた救援物資の送付や延べ40人の職員派遣を行い、今年4月から2人の職員を1年間派遣するなど交流は深く、今回の佐藤町長らの九州訪問で、県内唯一の訪問地となりました。

最後に語られた「私たちのことを忘れないでほしい」の言葉に応え、支援の継続を誓いましょう。

## 「私たちのことを忘れないでほしい」



佐藤 仁 町長

佐藤 徳憲 総務課長

## 「消すまでは 出ない行かない 離れない」

### 平成24年度全国統一防火標語



秋の火災予防運動(11月9日～15日)の初日、防火意識の高揚と住宅用火災警報器の早期設置を呼びかけようと市内の園児298人とその保護者をはじめ、消防関係者ら総勢およそ400人が大口ふれあいセンターに集結しました。

湯之尾保育園の“集団演技”や山野保育園の“防火の誓い”が披露されたセレモニーでは、「火の用心」のかけ声とともに参加者全員で風船を飛ばしました。

また、セレモニー後のパレードでは、まといや旗を手に、市民へ向けて火災予防をPRしました。